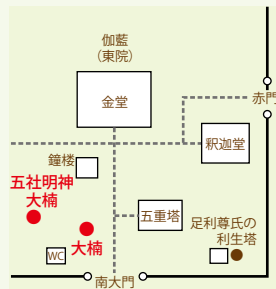




【大楠】四方に張り出したみごとな樹



■善通寺町三丁目3-1

●JR善通寺駅から徒歩約15分

## 弘法大師空海誕生前から 生い茂っていた楠

総本山善通寺の境内には、県の天然記念物に指定された2本の大楠があります。南大門を入れてすぐ左手にあるのが大楠。その西北、五重塔を背に正面に見えるのが五社明神大楠です。

大楠は高さ約15m、幹の太さは地上1.5mのところでは11mもあり、大きく枝を伸ばしています。樹齢千数百年ともいわれ、弘法大師空海誕生の頃からすでに生い茂っていたようです。

一方、五社明神大楠は高さ約17m、幹の太さは地上2.3mのところでは10mの大きな樹です。五社明神は善通寺領の安泰を守る氏神

で、根元に社殿がまつられています。ともに長い年月にわたり、善通寺を訪れた人々に涼やかな木陰を提供してきました。

なお、クスノキは善通寺市の「市の木」でもあります。



【五社明神大楠】天を覆う姿は雄大そのもの